

各報道機関 御中

国立大学法人山梨大学

地域防災・マネジメント研究センター
防災シンポジウム「水害に強い甲府盆地」 開催のご案内

地域防災・マネジメント研究センター主催で“防災シンポジウム「水害に強い甲府盆地」”を下記の要領で開催いたします。

地域防災・マネジメント研究センターは、「防災減災部門」、「維持管理部門」、「都市環境部門」という3部門体制の下で、山梨県や国土交通省、県内防災関係機関との連携事業のみならず、学外の大学、研究機関やNPO、民間企業等とも共同で研究開発に取り組んでいます。本シンポジウムでは、近年国内で多発している豪雨災害に対応した、水害に強い甲府盆地に関する研究・取り組みについて発表いたします。

つきましては、当日の取材等について、よろしくお願い申し上げます。

記

1. 日時： 令和4年1月12日（水）13：30～15：00

2. 場所： 山梨県立図書館多目的ホール

（〒400-0024 山梨県甲府市北口2丁目8-1）

3. 登壇者： 山梨大学地域防災・マネジメント研究センター長

山梨大学地域防災・マネジメント研究センター

株式会社UG都市建築 代表取締役社長

亜細亜大学都市創造学部 教授

すずき	たけやす
鈴木	猛康
おおつき	かずあき
大槻	順朗
やました	まさひこ
山下	昌彦氏
おかむら	ひさかず
岡村	久和氏

以上

〈研究についての問い合わせ先〉

山梨大学 地域防災・マネジメント研究センター 教授 鈴木 猛康

電話：055-220-8531 e-mail: takeyasu@yamanashi.ac.jp

〈広報についての問い合わせ先〉

連絡先) 山梨大学総務部総務課広報企画室

電話：055-220-8005、8006 FAX：055-220-8799

令和3年12月21日

防災シンポジウム「水害に強い甲府盆地」 開催要項

山梨大学地域防災・マネジメント研究センター

甲府盆地では想定最大規模の降雨に対する浸水想定区域に39万人、そのうち浸水深3m以上に6.7万人が居住しています。大規模な洪水が発生すると、市町村境界を越えた避難、すなわち広域避難が必要となります。一方、2019年台風19号による被害の様相は、河川が氾濫してもまちの機能と県民の資産の被害を最小限にし、水害をかわして早期に立ち直ることができるレジリエントなまちを構築する水害対策の必要性を示しています。このような中で、産官学の約30名が結集し、「水害に強い甲府盆地推進研究会」を2019年に設立しました。本研究では、リニア新幹線の新駅が建設される甲府盆地南部を例として、災害に対して強靱かつグリーンインフラやスマートシティを取り込んだ、持続可能なまちづくりを提案します。また、遊水地では平時には水を循環させ、生物多様性を育み、産業を推進するとともに、緑と青の快適な居住環境を創造します。研究会設立から3年目を迎える中、シンポジウムを開催し、研究会の成果を広く県民に公開するため、研究会参加機関の後援を賜り、下記のように防災シンポジウムを開催いたします。

記

1. 日時

2022（令和4）年1月12日（水）13:30～15:00

2. 主催、後援

主催：山梨大学地域防災・マネジメント研究センター

後援：国土交通省関東地方整備局甲府河川国道事務所、山梨県、甲府市（予定）

3. 開催場所

山梨県立図書館多目的ホール（〒400-0024 山梨県甲府市北口2丁目8-1）

ZOOMによるオンライン配信（通信環境が十分に安定していないため、後日配信の可能性有り）

4. 申し込み方法および締め切り

山梨大学地域防災・マネジメント研究センターHP掲載の[申込フォーム](#)よりお申し込み下さい。

フォームがご利用になれない場合は、①ご氏名、②ご所属、③ご来場の有無を、下記事務局までメールでご連絡ください。【来場定員40、1/10締め切り】

5. 内容・スケジュール（予定）

13:00- 開場、受付開始

13:30-13:35 挨拶、趣旨説明...鈴木猛康（山梨大学地域防災・マネジメント研究センター 教授）

13:35-14:15 研究会の成果報告...鈴木猛康、大槻順朗（山梨大学地域防災・マネジメント研究センター 助教）

14:20-14:50 パネルディスカッション

登壇者： 鈴木猛康、大槻順朗

山下昌彦（UG都市建築代表取締役社長）、岡村久和（亜細亜大学都市創造学部教授）

6. 参加費

無料

7. 問い合わせ（事務局）

山梨大学地域防災・マネジメント研究センター 大柴 shiorio@yamanashi.ac.jp

以上